前立腺全摘術（開腹術およびロボット支援手術）における尿禁制回復に関する後ろ向き比較研究

１．研究の対象

2017年11月から2025年11月までに、当院で前立腺全摘術（開腹前立腺全摘術［ORP］またはロボット支援前立腺全摘術［RARP］）を受けられた患者さん

２．研究目的・方法

本研究は、当院における前立腺全摘術の術式の違い（開腹手術とロボット支援手術）が術後の尿禁制回復に与える影響を検討することを目的としています。

診療録情報を用いた後ろ向き観察研究として実施し、術後の尿禁制回復までの期間および関連因子について統計学的解析を行います。

研究期間：倫理審査承認日から2026年12月31日まで

３．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、BMI、ASAスコア、PSA値、臨床病期（cT）、生検Gleason score、NCCNリスク分類、膜様部尿道長（MUL）、手術方法、手術時間、出血量、病理結果、尿禁制回復までの期間 等

※本研究では新たな試料採取は行いません。

４．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

岐阜県立多治見病院 泌尿器科

住所：〒507-8522 岐阜県多治見市前畑町5丁目161

電話：0572-22-5311

担当者：藤田高史

研究責任者：

岐阜県立多治見病院 泌尿器科　藤田高史